

# Keep On Researching

2013 年 2 月 10 日  
発行  
明石北高等学校  
研究推進部

平成 25 年度 SSH 研究発表会が 2 月 6 日(木) 5・6・7 限に本校会議室で催されました。

2 年生自然科学科の「自然科学探究」(1 年次 1 単位、2 年次 2 単位)の研究成果を発表する大切な発表会です。各班 2 年間の活動を 8 分間にまとめてパワーポイントを使っての発表です。とてもまとめきれずに四苦八苦して作成したスライドを、繰り返し練習して臨みました。準備に十分な時間はとれませんでした、全力投球の 3 時間でした。また、アメリカ研修の報告もパワーポイントですが、全編英語による発表でした。以下は、発表のタイトルです。

発表会には 1 年生自然科学科もオーディエンスとして参加しました。来年は彼らの発表です。これからの 1 年間、楽しんで研究を進めていって欲しいものです。

3 月には 1 つの班 5 分の発表を 1、2 年生全員に披露します。昨年のアンケートを参考に、研究は噛み砕いたものになっているはず。楽しみにして下さい。

## 海外研修生徒報告 代表生徒

2 年 口頭発表、(発表 8 分、質疑応答 4 分)

1. 最短経路問題
2. 統計的に見た「ババ抜き」
3. 高効率風車の制作
4. 空気中の酸素の体積組成
5. REMAKE THE POND!
6. ガウス加速器～加速の限界に挑む～
7. 吸水性ポリマー中のイオンについて
8. 乳酸菌の可能性



↑プレゼンテーションの後、  
質問をしている様子

## 出席いただいた先生方

### ・運営指導委員の先生

中川先生：神戸大学発達科学部教授 物理

熊谷先生：兵庫県立大学環境人間学部教授 化学

石原先生：大阪府立大学理学部准教授 生物

高橋先生：神戸学院大学薬学部講師 生化学

永田先生：明石商工会議所事務局長

### ・JST 西日本調査員

塩澤先生

発表会では自分たちの研究を発表するだけでなく、質疑応答が重要です。“質問に上手く答えられない”ということは自分たちが理解して研究を進めていないということです。上記の先生方からどんな質問が飛んでくるのかとハラハラしていたのですが、生徒達からたくさん質問の手が挙がりました。発表会の後、来賓の先生方との会議で、研究内容や発表の態度についてもですが、“質問をする”という姿勢をほめていただきました。もちろん、応答の姿勢も。この姿勢は授業でも同じです。ハリマ化成の報告でも書きましたが、「聞く、質問をする」大切なことです。3 月の発表会にはぜひみなさんも質問して下さい。